

② 令和2年6月15日

突然だった臨時休校からはや三月が経ち、いつの間にか季節は変わりました。保護者の皆様にはご心配をおかけしました。そしてご理解ご協力、誠にありがとうございました。

分散登校を経て、ようやく本格的に学校を再開する運びになりました。

分散登校の初日、登校してきた生徒に声を掛けたところ、「ずっと学校がなくてさみしくて、さみしくて、学校が始まってうれしいです。」という返事が返ってきました。『ああ、学校を待っていてくれたのだ。』少人数の登校であっても不安を払拭できない私はとても勇気づけられ、パッと闇が吹っ飛んだ、そんな気がしました。

児童生徒にとってはもちろんのこと、社会的にも大変大きな存在である学校。私たち教職員は、子供達の命を守り、成長に関わることができるこの仕事を改めて誇りに思うと同時に、その責務を果たす決意を新たにしました次第です。



先日、これからの行事等についてのご案内を配付いたしました。中止となった学習活動や行事がたくさんあり驚かれたかもしれません。実際に五感で感じたり、施設を利用したりして体験を通して学ぶことはたくさんあります。しかしながら休校の穴はあまりにも大きく、そうせざるを得ない状況であることをご理解いただきたいと思います。



学校の新しい生活様式。いろいろ制限があるかもしれませんが、新型コロナウイルスが消滅したわけではなく、感染症対策を踏まえながら今後とも児童生徒の学びを保証していきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございます！

そして 再度おねがいします！

先日よりご協力いただいている消毒用の不要布、まだまだ不足しています。

さらなる提供をよろしくお願いいたします。

